

## 第 2 学年 数 学 科

### 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書『新しい数学2』 問題集『よく分かる 数学の学習2』 音声計算トレーニング（プリント）など	持ち物	（毎回必要なもの） 教科書、問題集、ノート、 ファイル、筆記用具、直定規 （必要に応じて） コンパス、三角定規、分度器、はさみ、のり
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めりにウォーミングアップをします。（音声計算トレーニング）</li> <li>・教科書を基本として、問題集や授業プリントを使いながら学習を進めていきます。</li> </ul> <p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <p>計算公式を覚えて問題を解くだけが数学ではありません。なぜそうなるのか<b>根拠を理解</b>することが大切です。また、自分の考えを伝えようとする事で、筋道立てて考える力が身につきます。</p> <p>&lt;家庭学習では&gt;</p> <p>問題集は、学習したところまでを自分で進めていきましょう。後回しにして提出日間近に取り組み始めると、大量の問題を短期間で解くことになり、しんどい思いをします。計画的に！</p> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <p>教科書の「基本の問題」「章の問題A・B」や問題集で間違えた問題を正解するまで解き直すなど、<b>反復練習</b>によって理解を深めましょう。答えを覚えるのではなく、解き方を覚えることが理解を深めることにつながります。</p> <p>&lt;学び合いについて&gt;</p> <p>まずは1人で問題の解き方を考えましょう。どうしても分からない場合は他の人に聞き、解き方を理解しましょう。話し合いでは<b>他の人の考えを聞き、自分になかった発想を知ることが深い理解</b>につながります。</p>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律を守り、みんなで<b>良い授業環境</b>をつくりましょう。</li> <li>・授業妨害などで、指示が聞けない場合は、落ち着くまで別室で学習します。</li> <li>○ノート、問題集などの提出物は、期限を守って提出しましょう。</li> </ul>		

学習内容および評価規準

学習内容および評価規準			評価の観点 評価の方法（見取り）		
一 学 期	4	<b>1章『式の計算』</b> 1節 式の計算 2節 文字式の利用	中 間	知識・技能 ①文字式のはたらき、連立二元一次方程式、平面図形の性質、図形の証明の必要性と意味及びその方法、一次関数の特徴、確率や四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味、などを理解し、知識を身につけている。 ②文字を用いた四則計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について簡潔に表現したり、関数関係を的確に表現したり、確率を求めたりするなど、技能を身につけている。	
	5	<b>2章『連立方程式』</b> 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の利用			期 末
	6	<b>3章『1次関数』</b> 1節 1次関数			
二 学 期	7	<b>3章『1次関数』</b> 1節 1次関数	中 間	思考・判断・表現 ①数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考や判断を身につけている。	
	8	2節 1次関数の性質と調べ方			
	9	3節 2元1次方程式と1次関数			
	10	4節 1次関数の利用			
	11	<b>4章『平行と合同』</b> 1節 説明のしくみ			
	11	2節 平行線と角	期 末	主体的に学習に ① 知識・技能を身につけるためや、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、学習に粘り強く取り組んでいるか。 ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習方法を	
	12	3節 合同な図形			

三 学 期	1	<b>5章『三角形と四角形』</b> 1節 三角形 2節 平行四辺形	学 年 末	取 り 組 む 態 度	見直して、改善できるように調整しようとしているか。
	2	<b>6章『確率』</b> 1節 確率 2節 確率による説明			
	3	<b>7章『データの比較』</b> 1節 四分位範囲と箱ひげ図			